



◆PEP（ペップ）って何？～



エイズ医療対策室 室長 藤井輝久

エイズ医療対策室長の藤井です。表題の答えですが、「Post-exposure Prophylaxis」で日本語では、「暴露後予防内服」となります。つまり、HIV陽性者の血液等体液暴露があったら、みなさんも私に連絡して感染予防として抗HIV薬を内服をするかと思いますが、まさしくそれになります。この度、本院では医療従事者だけでなく、HIV陽性者の性的パートナーに対しても、PEPを開始することになりました。



きっかけは、広島県の感染症・疾病管理センターからの1本の電話です。「先生、島根県（県境）在住の外国人の方から問い合わせがあり、「HIV陽性者と性的接触があった。PEPとしての薬が欲しいがどこへ行けばよいか？」とのことですが……」。結局、その方には島根大学医学部附属病院へ行っていただき、自由診療で抗HIV薬が処方されたようですが、県からはブロック拠点病院である本院が主導して、同様の事例に対応できる体制を構築するよう依頼されました。（県の担当者は、その人から「広島に対応できるところないの？遅れてるう」と言われたのが非常に悔しかったそうです（笑）

さて、笑い事ではありません。日本は今年ラグビーのワールドカップ、来年は東京オリンピックが行われる予定です。さらに最近の外国人旅行者の増加で、広島でも同様の事例は今後も起きてくるでしょう。リオのオリンピックでは多くの選手や関係者がPEPの薬を求めて医療機関を受診したとのことでした。

東京の国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究センターでは、3年前から既に非職業的暴露におけるPEP（Non-occupational PEP,略してnPEPと言います）を始めています。そこに受診される人は年間30人、ほとんどが外国人旅行者とのことです。人口が東京都の10分の1である広島市ですから、単純計算で年2-3人の受診者が現れる見込みです。

詳細は中四国エイズセンターのホームページ、PEP処方に掲載していますので、ご覧ください。

(<http://www.aids-chushi.or.jp/ippan/pep/index.html>)

PEP処方



また性的接触ではないですが、医療者と同様に暴露する可能性がある職種として、警察官、救急救命士、自衛官などがあります。こちらはnPEPではなく職業的な暴露と言えるので、労務災害の適用となりますが、周知されていません。今後そういった職種の方々にも、PEPについてアナウンスしていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

◆PEP対象者

性的接触の相手がHIV陽性者、もしくはその可能性がある人で、コンドームを使用しない性的接触後72時間以内の人。

◆PEP非対象者

- ①自身が感染している人
- ②性的接触の相手がHIV陰性者と分かっている場合

◆処方薬

- ・デシコビHT 1錠 /1日1回
- ・アイセントレス600mg 2錠 /1日1回

（副作用）数%の確率で嘔気などの胃腸障害や、2～4%の確率で不眠やいらいら感、浮動性めまいなどが報告されている。



◆広島大学病院 PEP処方手順◆

【1】受診予約申し込み

- ・エイズ医療対策室に電話をして、受診日時を決定します。
- ・来院後、中央受付の初診窓口で手続きを行います。

エイズ医療対策室
電話 082-257-5351

【2】医師の問診・診察

- ・薬の効果と副作用、服用方法について説明を行います。
- ・保険適応外使用に関する費用の説明を受けた後、同意書に署名いただきます。
- ・基本、採血は行いませんが、検査ご希望時には別途料金が発生します。

【3】処方箋の発行／

診療費の支払い

- ・初回は14日分の薬を処方します。
- ・副作用の症状が現れた際は、当院エイズ医療対策室までご連絡ください。
- ・副作用に関する診療についても、保険適応外となりますので、保険証のご利用はできません。

【診療費】 約 ¥ 3,500

【5】再診

- ・抗HIV薬服用後、14日後に再受診していただきます。
- ・副作用の確認を行い、問題が無ければ16日分の薬を追加処方します。

【診療費】 約 ¥ 1,500

【薬剤費】 約 ¥ 115,000

【4】薬の購入

- ・処方箋を院外薬局に持参し、薬を購入します。

【薬剤費】 約 ¥ 100,000

<デシコビHT>



<アイセントレス600mg>



<研修会報告> 平成30年度包括的HIVカウンセリング研修会@岡山（2019年2/9～2/10）

エイズ医療対策室 臨床心理士 杉本悠貴恵

毎年恒例の包括的HIVカウンセリング研修会ですが、今年は11施設78名の方にご参加いただき、岡山県岡山市でを開催することができました。この研修会は、各病院が抱えている症例について職種ごとで検討を行う、大規模な事例検討会方式を続けています。コメンテーターも医師に限らず色々な職種をお招きしています。



今年は、東京医科大学附属病院の医療ソーシャルワーカーの藤平輝明先生をゲストコメンテーターとしてお招きし、5病院のチームの方々からの症例発表がありました。HIV領域で課題となっている外国人への支援やがんなど他疾患が併発している症例など、複雑な問題を抱えた方へのベストな支援を模索されている様子を感じられました。普段、私たちは最善の医療を提供することを一番に考えていますが、時に患者さんの思いとずれてしまうなどの問題が起こってしまうことがあります。

藤平先生から患者の『物語（生き方）』に寄り添う大切さについてコメントをいただき、ベストな医療を提供することと同じくらい患者さんの思いを大切にすることも重要であると改めて認識できた瞬間でした。研修会終了後の感想文でも『藤平先生からの言葉はとても心に残った』というコメントがとても多かったです。

この研修会は、コメンテーターの先生をはじめ、スタッフとしてご協力くださった皆様や症例を報告して下さるチームの方々、研修会にご参加くださった皆様のご協力のおかげで実りの多い研修会を行うことができました。皆様、ありがとうございました。



広島大学病院 HIV診療チーム NEWスタッフ紹介

感染症科 医師：大森 慶太郎

2019年4月より広島大学病院感染症科に配属となりました。前職の奈良県立医科大学感染症センターでは、様々な感染症症例を担当させていただきましたがHIV診療にも関わらせて頂き、エイズを発症し入院となった方、安定後に定期通院されている方のフォローを担当させていただきました。

HIVにおいて最も重要な合併症の一つが日和見感染症です。HIVに対して無治療で経過しますと、感染防御機構の司令塔ともいえるCD4リンパ球数が減少し、様々な病原微生物による感染症に罹りやすくなります。特にエイズ発症段階では、適切な感染症の診断と治療が予後の改善に重要となってきます。感染症の専門家として、治療や予防に貢献できれば幸いです。

またHIVにおいては感染症以外にも、メンタル面でのサポートが必要となる方や、悪性腫瘍など他疾患を合併する場合、高齢化に伴い療養環境の調整が必要となる場合などあり、社会的背景も踏まえてどう関わらべきか考えさせられるケースも多いように思います。まだまだ学ぶべきことが多い段階ですが、皆様のお役に立てるよう努めて参りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

エイズ医療対策室 看護師：佐々木 美希

2019年2月から広島大学病院に入職いたしました。これまで、循環器/心臓血管外科を中心に急性期領域で約15年勤務してきましたが、HIV診療に関わった経験は1度もなく、周りのスタッフの方や通院される患者さんから、色々教えていただきながら勉強の毎日です。少しでも早く、チーム診療の力になれるよう頑張っていきますので、みなさまどうぞよろしくお願いいたします。

プライベートでは、アウトドア派の私です♪雪が降る時期以外は、年中あちこちでキャンプをしています。キャンプ好きな方、ぜひ声をかけてください♪

薬剤部 薬剤師：田中 まりの

2019年4月からHIV診療チームに加わりました。薬剤師としての経験はまだ浅いですが、今後お会いする患者さんに、服薬指導を通して寄り添っていけたらと思います。新薬の開発スピードが速い分野ですが、最新の情報を提供できるように自己研鑽に励みたいと思います。

出身は九州の南端鹿児島です。文化・言葉の違う広島での生活に刺激を受けながら、趣味の料理や旅行などを楽しんでいます。これからどうぞよろしくお願いいたします。

新抗HIV薬のご紹介

■ビクトルビ配合錠

1日1回1錠の新しい薬が仲間入りしました。食事の影響を受けず、これまでの1日1回1錠のお薬と比べても小さくなっています。

●基本情報

- 一般名(成分名)
ビクテグラビル/エムトリシタピン、テノホビルアラフェナミド
- 略名: BVY(BIC/FTC/TAF)
- 分類: シングルタブレットレジメン(STR)

●服用方法

- 服用方法: 1回1錠を1日1回
- 保管方法: 室温

●主な副作用

- 症状: 頭痛、下痢、悪心、めまい、疲労等

●注意事項

- 毎日決まった時間であれば、食事に関係なく服用できます。
- ミネラル(マグネシウム、アルミニウム等)を含むサプリメントは本剤の効果が減弱する可能性があります。
- 併用してはいけない薬や注意を必要とする薬があるので、併用禁忌・注意薬リストを確認しましょう。
- 腎機能低下により処方変更される場合があります。
- 慢性B型肝炎を合併している場合は、本剤中止後のB型肝炎の悪化に注意して下さい。
- B型肝炎治療薬(ゼフィックス、テノゼット)を服用したことのある人は必ず申し出てください。



2019年広島大学病院HIV診療チーム



* Undetectable equals untransmittable
(検出限界以下は感染しない)

<直径15mm、短径8mm>



ビクトルビ配合錠





2019年度中国四国ブロックHIV研修会・会議スケジュール

お問い合わせ：広島大学病院エイズ医療対策室・広島県臨床心理士会

TEL&FAX：082-257-5351(直通)

中四国エイズセンターホームページ：<http://www.aids-chushi.or.jp/>

詳しい研修会・会議・出前研修のご案内は中四国エイズセンターホームページをご覧ください。

◆事務局:広島大学病院 エイズ医療対策室

作成日:2019年3月20日

歯科医師 歯科衛生士	2019年11月10日(日) 会場:岡山コンベンションセンター(岡山市) 第10回中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議
	2019年12月1日(日) 会場:未定(未定) 2019年度広島県歯科医師会の会員・準会員のためのHIV感染症に関する講習会
薬剤師 日本病院薬剤師会 認定研修会	2019年7月6日(土)・7日(日) 会場:センチュリー21広島(広島市) 第38回薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会-20周年記念大会 - ※カウンセラー研修会と同時開催
看護師 日本エイズ学会 認定研修会	2019年6月27日(木)・28日(金) 会場:広島大学病院(広島市) 第37回看護師のためのエイズ診療従事者研修
	2019年7月25日(木)・26日(金) 会場:広島大学病院(広島市) 第38回看護師のためのエイズ診療従事者研修
	2019年11月9日(土) 会場:県立広島病院(広島市) 2019年度中国・四国ブロックエイズ治療ブロック/中核拠点病院看護担当者会議
	2020年1月25日(土) 会場:広仁会館(広島市) 2019年度看護師事例検討会
ソーシャル ワーカー 看護師	日程:2019年10月19日(土)・20日(日) 会場:リジェール松山(松山市) 第15回HIV/AIDSソーシャルワーカー・看護師ネットワーク会議、研修会
四国地方 日本エイズ学会 認定研修会	2019年9月29日(日) 会場:高知城ホール(高知市) 2019年度四国地方の診療医師及びスタッフのためのHIV講習会

◆事務局:広島県臨床心理士会(広島大学病院エイズ医療対策室内)

心理職 福祉職	2019年7月6日(土)・7日(日) 会場:センチュリー21広島(広島市) 2019年度第1回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会-20周年記念大会 - ※薬剤師研修会と同時開催
中核拠点病院 心理職	2019年10月5日(土) 会場:広島大学病院(広島市) 2019年度第2回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会
	2019年10月6日(日) 会場:広島大学病院(広島市) 2019年度中国四国ブロックエイズ治療中核拠点病院 HIVカウンセラー連絡会議
心理職	日程:未定 会場:未定 2019年度心理職対象HIVカウンセリング研修会(初心者向け)
全職種 日本エイズ学会・ 日本病院薬剤師会 認定研修会	2020年2月29日(土)・3月1日(日) 会場:ホテルパールガーデン(高松市) 2019年度包括的HIVカウンセリング研修会